

棚田を地域資源として活用し、癒しを提供する美咲町農村体験プログラム事業



Ohaganishitanada
Koyamanotanada

岡山県美咲町は、吉井川、西部に旭川が流れる穏やかな気候の地だ。美しい自然が魅力の町では、高齢化・過疎化が進んでいる。「美咲の自然を活かし、町に住む方の文化を守りたい」と、美咲ファイネスト株式会社の貝阿彌敏美社長はプロジェクトを立ち上げた。

「美咲町には、日本人の精神性が



代表取締役 貝阿彌 敏美

略歴／昭和36年生まれ。大学卒業後、関西の放送局に勤務。平成10年より拠点を東京に移し、主に行政関係の仕事を行う。同18年美咲ファイネスト株式会社を設立、代表取締役就任。

残る里山文化が根付いています。自然と人と生き物が調和を取って生きている里山の文化が失われてしまったらどうなるのだろうか。そんな危機感から里山の良さを残す方法としてこのプロジェクトを考えたのです。都市を感じる田舎の魅力をポイントに、癒しの体験を基本に据えました。美咲町での農村体験や癒しの体験プログラムを実現するために、地元の方の協力は欠かせません。インストラクターの育成や宿泊施設の整備を進め、点と点でしかなかった地域の集客資源を一つに集約した滞在プログラムになっています」

「美咲の自然に抱かれて癒しの体験を」
同プロジェクトは、ターゲットを都市生活者層、特に大都市圏の企業、法人に絞った。人事研修や福利厚生などに利用してもらえるよう、提案営業をしていく計画だ。

「『都市と農村の交流』をテーマに、そこにならなくなった意義を持たせるか、検討を重ねました。一つは『農村体験』。ろくろを触る、動物や土と触れ合うなど、都市ではできない多彩なプログラムを体験していただきます。また農村体験に加え、健康面のサポートも充実しているのも特長。アンチエイジング、ストレス解

良き日本文化を次代に伝えるために

これまでモニターを数回募集し、実際にプログラムを体験してもらった。その反響は？

「団塊の世代の方や若い方などは『気持ちの良い体験だった』というご意見が大半。『ストレスの軽減になるような爽やかな労働』『田舎のアトリエでの陶芸体験もおもしろかった』という反響も。企業の人事担当者の方には農作業プラスメンタルトレーニングを体験してもらいましたが、好意的な意見がほとんどでした。ある方は『来てよかった』としみじみと言ってくださいました。都会で暮らしていると自分一人が頑張ってお金を稼いで生活しているような気分になるが、美咲に来て『生かされているなあ』と感じた。そういう感想を抱いていただけなのは、大変ありがたく感じました。一人でも多くの方にプロジェクトに参加していただき、一人ではなくみんなでつながって生きている”と感ぜてもらえたらうれしいですね”

事業概要

過疎化・高齢化の進行により、耕作放棄地が増え人口も減少が続いている。そのため環境を活かした、生産基盤と生活環境基盤の整備による地域の活性化が課題となっている。平成18年「経済産業省サービス産業創出支援事業」として委託を受け、地域事業者の協力を得て事業への取り組みを開始した。



売れる商品づくり

競争力 一般的なグリーン・ツーリズム商品と異なり、都市生活者が求めるストレスの解消、意欲の醸成などに対し、「農業体験」とセラピスト等の「専門家」とのジョイントによるオリジナルな「体験」プログラムは今までにない商品である。

地域資源における関係事業者との連携

本事業の商品である体験プログラムを提供するため、地元の農家や主婦、当地域を拠点とする芸術家、宿泊施設、商工会等との連携体制を構築しており、今後事業への協力者を登録制度等により増やしていく予定である。



Information

美咲ファイネスト 株式会社

所在地 ●岡山県久米郡美咲町綿織 1224-1
TEL ●0868-66-0187
URL ●http://www.misaki-nouson.com
設立 ●平成18年4月
資本金 ●1,000万円
従業員数 ●5人

【活用する資源】
大塚和西棚田・小山の棚田

【地域】
岡山県美咲町
【認定日】
平成19年10月12日

【認定行政庁】
経済産業省、農林水産省、国土交通省



岡山県